

令和6年度 兵庫県立芦屋特別支援学校 学校評価

基本方針

「子どもたちが自立して生きる力の育成を目指す」

目指す学校像 (1) 環境づくり 安心安全で信頼される学校
(2) 授業づくり 日々の学びを大切にする学校
(3) 夢・希望づくり 生きる力を育む学校
(4) 関係づくり 地域に開かれ、つながる学校

重点目標 (1) 児童生徒の命を守り、安心安全に学べる環境
(2) 児童生徒一人一人に生きる力をつける指導の充実
(3) キャリア教育・就労支援の充実
(4) 地域の中で学び地域とともに歩む学校づくり
(5) 合理的配慮の提供を踏まえた教育実践
(6) ICTや情報・教育データの利活用
(7) 訪問教育の充実

・各項目の平均値をA (3.2以上)、B (2.8以上～3.2未満)、C (2.4以上～2.8未満)、D (2.4未満) として表記。
保護者アンケート 4段階 (4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない 0:わからない)
教職員アンケート 4段階 4:(できた) 3:(だいたいできた) 2:(あまりできなかった) 1:(できなかった)

	領域	評価の観点	関係する部署	評価項目	教職員	保護者	
1	重点「連携」テーマ	縦の連携	全体	各学部の教育方針を知り、情報を共有し、学部間で協力したり連携したりできたか。	B	A	
2		横の連携	全体	子どもを支える関係者同士(学年・学部内・訪問学級・各分掌・事務室)が連携して、相談・協力し合うことができたか。	B	-----	
3		子どもたちの学びを支える環境	組織のあり方	全体	働きやすい環境作りのため、メンタルヘルス研修の実施等を通じて、教職員間のコミュニケーションや良好な人間関係づくりに努めたか。	B	-----
4				全体	会議等において活発に意見が言える雰囲気づくりに努め、課題解決に向けた取り組みを行うことができたか。	B	-----
5				全体	円滑な学校運営を行うために、先を見通しながら業務の引き継ぎや情報共有が十分に行われたか。	B	-----
6	安心・安全で信頼される学校	学校危機管理	日々の環境整備	全体	児童生徒の安全な教育環境のために施設・設備を点検し整備したか。	A	A
7			防災・安全教育	全体 防災委員会	学校の防災に対する意識を高め、防災のあり方について各学部、学年、分掌で見直すことができたか。	B	-----
8				全体 総務部	本校の環境や立地に即した防災マニュアルに則った避難訓練により、避難行動や経路の確認を行うことができたか。	A	A
9				全体 総務部	避難所開設訓練を実施し、避難所を開設した際の課題を把握したり、保護者及び近隣の学校と防災に関する研修を実施して発災時の対応について理解を深めたりすることができたか。	B	-----
10				全体 総務部	避難訓練を適切に実施・参加し、反省を自ら活かして主体的に改善に取り組んだか。	A	-----
11			感染症対策	全体	感染症対策を適切に行いながら、学習活動の充実に努めることができたか。	A	A
12		教員の資質向上	研修への積極的取り組み	全体 研究・研修部	研究・研修に主体的・積極的に取り組み、特別支援教育について知識を深め、専門性の向上を図ることができたか。	A	-----
13					現行の学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」を理解して、指導に生かしているか。	B	-----
14					学部での研究(日)を有効に進め、支援・指導に活かすことができたか。	B	-----
15		保護者との関係	信頼協力関係の構築	各学部	児童生徒の個々の学校生活の様子について、連絡帳や懇談等を通して保護者と情報共有し、相互の信頼関係のもと協力して 課題解決に 取り組むことができたか。	A	A
16			医療的ケア	保健部 各学部	医療的ケアの必要性和意義を教職員全体で理解し、看護師や学校医・主治医と連携して適切なケアを行うことができたか。	B	-----
17			発作対応など	全体	発作やアレルギー対応の児童生徒を把握し、適切な対応を行ったか。	A	-----
18	日々の学びを大切に する学校	個に応じた学習指導	教務部 各学部	児童生徒をよく観察し、実態把握に基づいた個別の指導計画を作成することができたか。	B	A	
19				担任間で指導方針について情報共有し、手立てに即した指導をすることができたか。	A	-----	
20				個別の指導計画や引き継ぎシートに基づいて学部・学年間で十分に情報共有し、引き継ぎの内容が指導に活かされたか。	B	-----	
21		授業改善	各学部	各教科における個別の目標に基づき、児童生徒が意欲的に取り組めるような工夫ができたか。	B	A	
22		児童生徒理解		障害の理解・対応	児童生徒の障害特性を理解し、生活面、行動面、学習面において適切な対応と指導ができたか。	B	A
23		教師間での協力		クラス内で担任間が共通理解し、協力し合うチームティーチングができたか。	A	-----	
24		情報教育	ICT活用	全体 情報部	電子黒板やタブレット等のICT機器を活用した授業や教育活動に積極的に取り組み、より効果的な活用ができたか。	B	B
25		困難な課題への対応	関係部署の連携	支援部 生徒指導部	児童生徒の課題に対して、関係する部署が連携し、適切に対処することができたか。	A	-----
26		進路指導	進路指導体制の充実	進路指導部	「進路だより」の発行等により、進路に関する制度等、必要に応じた情報提供を適切に行えたか。	B	A
27		キャリア教育	自立に向けた系統性のある指導	進路指導部 支援部 各学部	卒業時につけたい力を想定して、学部間で連携して系統性のある教育活動に取り組んだか。	B	A
28			個に応じたキャリア教育の実践	進路指導部 各学部	ライフサイクルを見通した視点で、児童生徒の発達段階を踏まえた教育活動を行えたか。	B	-----
29	人権教育		人権への意識	全体	児童生徒の主体性を尊重し、人権を尊重した教育活動を行えたか。	A	-----
30		人権意識を培う指導	人権教育推進委員会 各学部	各学部で作成した人権教育年間指導計画に基づいて、授業や行事において児童生徒の人権意識を培う取組や配慮ができたか。	B	A	
31	つ地な域がにる開学が校れ	理解啓発	地域とのつながり	総務部 各学部	ホームページやブログで学校の情報を発信し、本校の教育活動を地域等に広く知らせることができたか。	B	A
32				総務部 各学部	ひまわりを植えた後に収穫した種を配る「いのちのひまわり絆プロジェクト」の実施を通じて、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。	A	B
33		センター的機能	支援部	センター的機能を活かして、近隣校への巡回相談、教育相談等を行い、特別支援教育の推進に貢献できたか。	B	-----	
34				児童生徒のより良い支援体制構築のために、医療や福祉などの外部機関との連携に向けて、「支援部だより」の発行等を通じて啓発できたか。	B	A	
35		交流および共同学習	地域、他校等との交流及び共同学習の推進	支援部	相手校や地域の方々と交流等の目的を共有し、相互理解が図られたか。	B	B